

家庭学習の力は「生きる力」

【お家の方へ】

家庭学習の力は、子どもがこれからの社会を生き抜くために、「家庭」と「学校」が力を合わせて育むものです。

(お願い)

- ①「早寝・早起き・朝ご飯」などの生活リズムを整えてください。
- ②「勉強中はテレビを消す」「勉強する場所を整理整頓する」など集中できる環境を作ってください。
- ③学習している様子やがんばりを見てあげてください。
- ④やる気を高めるように、ほめたり、はげましたりしてください。
- ⑤子どもが考える「今週のめあて」にアドバイスをしてあげてください。
- ⑥ゲームやインターネットをする時間は、**1日1時間程度**としてください。

富原小学校 5・6年生のみなさんへ

自分で考え、学習を進める力をつけることは、生きるためにとっても大切なことです。あせらずじっくりと、次の方法で、お家の人と一緒に取り組んでみましょう！！

1 家庭学習の**時間**を決めよう！！ →

分

めやすは、(学年)×10分+10分です。

2 今日の**宿題**をやりましょう！！

3 時間があまったら、**自主勉強**をしましょう！！

4 宿題や自主勉強が終わったら、お家の人に点検してもらおう！！

学習するときのやくそく

- ①「～ながら学習」はしません。
～を見ながら ～をききながら ～を食べながら
～をのみながら をがまんして集中します。
- ②つくえの上はきれいにします。
- ③文字をていねいに正しく書きます。

「できるようになること」

5年生

- ①5年生で習う漢字（193字）を全て読み、ほとんどを書ける。
- ②敬語の種類と使い方がわかり、正しく使うことができる。
- ③小数のかけ算・わり算ができる。
- ④「平均」「単位量あたりの大きさ」「割合」「百分率」の意味がわかり、その問題が解ける。
- ⑤47都道府県の位置がわかり、正しく漢字で書ける。
- ⑥理科の実験道具の正しい名称や扱い方がわかる。
- ⑦分数のたし算・ひき算ができる。（通分と約分ができる）

6年生

- ①小学校で学習する漢字の全て（1,026字）が読み、ほとんどを書ける。
- ②主語、述語、修飾語を適切に使って文章を書ける。
- ③分数のかけ算・わり算ができる。
- ④「速さ」の意味がわかり、その問題が解ける。
- ⑤歴史の流れがわかり、主な人物やできごとについて説明ができる。
- ⑥世界の主な国々の名がわかり、位置を正しく示すことができる。

「こんなことをしてみよう」（おすすめの自主勉強）

やったことは、お家の人に〇付けしてもらったり、聞いてもらったりしよう！

5・6年生

- ①止めやはね、筆順に気をつけながら漢字練習をする。
- ②教科書の物語文をはっきりとした声で、気持ちをこめて音読の練習をする。
- ③教科書に載っている古文を暗唱する。ことわざを覚え、それを使って短文を作る。
- ④一日の振り返りとして日記を書いたり、新聞を読んで思ったことをノートに書いたりする。
- ⑤敬語を正しく使って手紙を書く。
- ⑥授業でやったことをもう一度ノートに書いたり、図や表を使ってまとめたりする。
- ⑦算数ドリルなどの問題を解き、まちがえたところは、必ずあとで解きなおしてみる。
- ⑧読書をする。共感したことや似たような経験、これからの自分に生かしたいことなどをノートに書く。
- ⑨歴史人物についてノートにまとめる。
- ⑩ドリルやインターネットの学習サイトを利用して国名や国旗、都道府県名とその位置を覚える。
- ⑪テストの問題をもう一度解き直す。
- ⑫テーマ（課題）を決めて、情報を集め、わかったことや思ったことをノートに記録していく。（新聞の切り抜きを貼るだけでもよい）

例：原子力発電について 震災の影響 世界の戦争や紛争 など